

科目名 Course Name	健康指導法 Health Instruction Method			ナンバリング No.	K2-007		
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	山下 美代子						
連絡方法	C-Learning で対応。又は講義棟 3F 研究室。						
必修/選択	選択(保育士養成課程必修・幼稚園教諭二種教職課程必修)						
関連 DP	DP3, DP4, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>子どもの健康を管理、維持、向上する為に必要な具体的方法や、運動遊びを通じた指導法について学ぶ。</p> <p>① 運動遊びや生活習慣の指導及び安全管理など、子どもの健康な心と体を育てるために必要な具体的指導方法が実践できるようにする。</p> <p>② 年齢に応じた指導計画の作成ができるようにする。</p> <p>③ 保育教材の適切な選定や使用方法を身に付けられるようにする。</p> <p>④ 子どもにとっての遊びの重要性と保育者の関わり方を考え、遊びの環境を構成することができるようにする。</p>						
授業の方法	グループワークを中心とし、実践に即した保育計画の作成や学生同士による模擬保育を行う。また、保育実践を豊かにするための保育教材の製作等も行う。						
学習成果	L01						
	L02	作成した指導計画を基に、子ども達の状況に応じた関わりや指導が柔軟に対応できる。					
	L03	心身が健康である状態とは何かを十分に理解した上で、その実現に向けた指導計画や指導上必要な教材等を作成することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	発表に対するコメントは、その場で教員、及び聴講学友から与えられる。各課題に関しては、授業内に各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:①事例で学ぶ保育内容〈領域〉健康(萌文書林)、②平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本(チャイルド本社)③指導計画の作成と保育の展開(文部科学省)						
履修上の留意点やルール等	保育者を目指す者として、目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。従って、私語・居眠り・授業に無関係の行動・不参加は「授業参加態度」において減点の対象とする。私語を慎み、真剣に受講すること。事前・事後学習時間の目安は各回45分相当とする。製作に必要な教材、材料、用具は各自が持参する。						
担当教員の実務経験	実務経験(職種:幼稚園教諭・保育士 職歴:通算21年) 保育現場での経験を活かし、事例を含めて解説を行う。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	ディスカッション場面では他者の意見を尊重しつつ自分の考えを述べ、模擬保育の際には的確なコメントや助言ができることが望ましい。		20		
レポート/作品					
発表	計2回の模擬保育を実施し、評価対象とする。十分に準備し、臨むこと。評価Sは、幼児の主体性を促す活動内容になっていること。			30	
小テスト	15回目に実施予定。評価Sは、設問に対する要求を満たし内容構成もきちんとしており、更に、授業内容及び資料等に書かれている範囲を超え、自己の考え方も示されていること。			30	
試験					
その他	指導案の提出を求める。		20		
合計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	授業概要(シラバス、授業の特徴、実習との関連、授業への取り組み方、課題について具体的に説明する)
	事前・事後学習	事後学習として、シラバスの読み込みと授業内容をまとめる。
2	授業内容	園生活と基本的な生活習慣／食育について
	事前・事後学習	教科書①p150～159を読み、要点の整理をする。
3	授業内容	基本的な生活習慣の自立に着目した指導案の作成
	事前・事後学習	事前に、指導案作成に向けた全体の流れを構想し、まとめる。
4	授業内容	基本的な生活習慣の自立に向けた保育材の作成と模擬保育の準備
	事前・事後学習	必要備品の準備、デザイン等の構想を練り、まとめる。
5	授業内容	グループ活動による模擬保育の実施①
	事前・事後学習	事前シミュレーションを行い、事後には記憶が鮮明なうちに振り返り記録を取る。
6	授業内容	グループ活動による模擬保育の実施②
	事前・事後学習	事前シミュレーションを行い、事後には記憶が鮮明なうちに振り返り記録を取る。
7	授業内容	子どもの健康と安全教育／ヒヤリハットについて
	事前・事後学習	教科書①p186～203を読み、要点の整理をする。
8	授業内容	PCを用いて指導案作成に向けての準備 基本的な考え方と作成方法について
	事前・事後学習	過去の授業内容を踏まえて、指導案書き方の要点を再度復習し、まとめる。
9	授業内容	グループ活動による指導案の作成(朝の会・帰りの会を想定した計画作成)
	事前・事後学習	事前に、指導案作成に向けた全体の流れを構想し、まとめる。
10	授業内容	グループ活動による模擬保育の準備
	事前・事後学習	必要備品の準備と製作を行う。
11	授業内容	グループ活動による模擬保育の実施①
	事前・事後学習	事前シミュレーションを行い模擬保育に臨む。事後には記憶が鮮明なうちに振り返り記録を取る。
12	授業内容	グループ活動による模擬保育の実施②
	事前・事後学習	事前シミュレーションを行い模擬保育に臨む。事前シミュレーションを行い、事後には記憶が鮮明なうちに振り返り記録を取る。
13	授業内容	グループ活動による模擬保育実施からの振り返り・課題抽出
	事前・事後学習	グループ内で出た振り返りの記録を整理し、他者に明確につたえられるようにしておく。
14	授業内容	子どもの健康とあそび／発達段階に適したあそびの提案について／伝承あそび
	事前・事後学習	教科書①p91～99を読み、要点の整理をする。
15	授業内容	幼少連携を留意した、保育内容健康が目指す子どもの姿と環境構成の確認 小テスト
	事前・事後学習	幼少連携の取組として、各園が行っている取組について調べてまとめる。配布資料の振り返りをする。